

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本



2024年12月8日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

どうなる 韓国大統領への弾劾訴追案 8日(日)=1、3面



韓国の尹錫悦（ユンソンニョル）大統領＝写真＝に対する弾劾訴追案が、国会で7日に採決される見通しです。尹氏は3日夜、政府の方針に相次ぎ反対する野党の言動を「反国家行為」と指弾し、「非常戒厳」を宣布しましたが、国会が4日未明、解除を要求する決議案を与野党の賛成で可決し、戒厳令は無効化しました。野党6党が4日、戒厳令は違憲だとして弾劾案を国会に提出していました。

弾劾案の可決には在籍議員300人のうち3分の2に当たる200人以上の賛成が必要で、野党6党と無所属議員は計192人。採決では、与党から8人以上が賛成に回るかどうかが焦点となります。保守系与党「国民の力」の韓東勲（ハンドンフン）代表は6日、賛成を示唆する発言をしており、可決の可能性が高まっています。採決の行方や韓国内外への今後の影響などを詳報します。

論点

騎手とスマートフォン 13日(金)=オピニオン面

日本中央競馬会（JRA）で騎手によるスマートフォンの不適切な使用が後を絶ちません。八百長防止のため騎手はレース前夜から競馬場などの「調整ルーム」に隔離され外部と連絡を取れませんが、昨年5月、若手騎手6人がスマートフォン

を持ち込み通信するなどしていたことが発覚。今年10月には女性騎手としてJRA歴代最多166勝の藤田菜七子さん＝写真＝も処分を受け、引退しました。

アスリートがスマホを手放せないのはなぜか。スポーツ倫理における問

題点はどこにあるのでしょうか。



「バレーボールの新しい国内リーグ「SVリーグ」が10月にスタートしました。写真。最近では国際大会で男女とも表彰台に上がるなど、日本のバレー界は実力をつけ、人気が高まっています。SVリー



「バレーボールの新しいリーグ」

8日(日)＝総合面

グは数年後の「完全プロ化」を掲げ、世界最高峰のリーグを目指しています。これまでのリーグから変化した点、地域と連携した取り組みや自立した経営に向けたポイントなどについて解説します。

特集 ワイド

共産党・志位和夫さんインタビュー

9日(月)=タ刊2面



先の衆院選で自公連立政権が少数与党となり、政界は流動化しています。躍進した野党もある一方で、議席を減らした共産党。結党102年、時代の荒波を何度も乗り越えてきた立場か

ら、この状況をどう受け止めているのでしょうか。委員長を退いてからも慌たたく動き回る志位和夫議長＝写真＝に、政治の今後や共産党の役割について、じっくりと語ってもらいました。

MAINICHI
毎日新聞

（丸山長彦）

10月からカスタマーリレーション本部に配属となりました。宜しくお願ひいたします。「毎月新聞」（佐藤雅彦著・中公文庫）という本を読んでいます。1998年から2002年まで紙面で毎月1回連載されていた、軽くウィットに富んだコラム（ミニ新聞）集です。硬軟織り交ぜ、自由な紙面作りを売りにしている毎日新聞。みなさんもぜひ紙面もデジタルも「毎月新聞」も読んでみて、毎日新聞の魅力を見つけみてください。

竹橋の
窓辺から

編集後記

